

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	お一人、お一人の外出の要望を聞くにも、人員の問題もあり、限界がある。そのため、2か月に一度ほど計画を立て、全員でバスレクにて外出している。個人的に外出したいとの要望の多い方について、対応できていない。	お一人、お一人が、その日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう、ご家族様や、地域の人々と協力しながら、出かけられるように支援する。	職員だけでは達成できないため、後見人さんや、地域の方々と協力しながら、希望に沿った、外出支援を実現する。	6ヶ月
2	55	利用者様が出来ている事でも、「職員がした方が速い、きれい、確実」との思いで、職員が過剰に介護をしてしまい、自立支援の妨げをしまっていることがある。	時間がかかっても、根気強く見守る姿勢で、安全面に配慮しながら、自立支援を心掛ける。	食事摂取時、なかなか口にスプーンをもっていけない方に関し、どう工夫をすれば、自力摂取ができるかを検討し、実践していく。食事に1時間かかる方に関し、最初の30分は、見守りのみ行い、その後様子見ながら介助する。その他、自立支援の研修を行い、スタッフ一人一人の意識を高める。	6ヶ月
3	4	運営推進会議への家族様の参加が実現できていない。	年に6回の運営推進会議に一度でもいいので、時間を調整し、参加していただく。	参加していただけそうなお家族様へ、会議の意図を説明し、理解を求め、時間の都合を聞き、調整する。	6ヶ月
4	28	ご家族のいない方に関しては、終末期の対応、死亡後の手続き等を行うことが求められる。そのようなケースに直面したことがないため、不安がある。	亡くなられたときに、スムーズに対応できるように生前から準備しておく。役場などに相談し、情報を集める。(現在対象者2名、1名は生活保護受給者、1名は成年後見人あり)	認知症にて、ご本人様の意思を確認することは難しい。医師、行政と連携し、具体的な計画を立てる。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。